前橋市民の健康状況

R5.3.28　確定

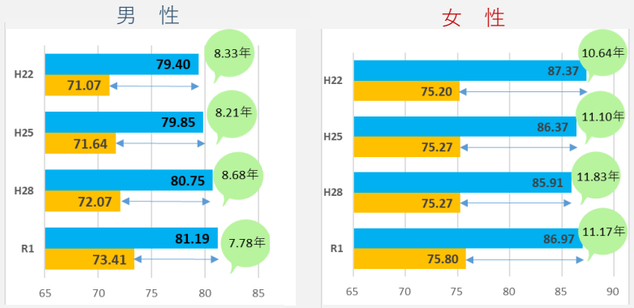
令和３年度の健診等のデータや、直近の報告から見える状況

❶ 群馬県の健康寿命は男女ともに延びました。

❷ 本市の国保特定健診の結果(血圧・HbA1c・血糖・BMI)は、県や全国と比較し「結果が異常なしではなかった人」が多くなっています。特に糖尿病関連の検査項目で、基準値を超えている人や肥満者の割合が増えていることがわかります。

健康まえばし21

R１年度 群馬県の平均寿命と健康寿命



厚生労働省「2010年都道府県別生命表」、国民生活基礎調査、群馬県「2013年、2016年簡易生命表」、第16回健康日本２１(第二次）推進専門委員会資料より

Ｒ１年度　群馬県

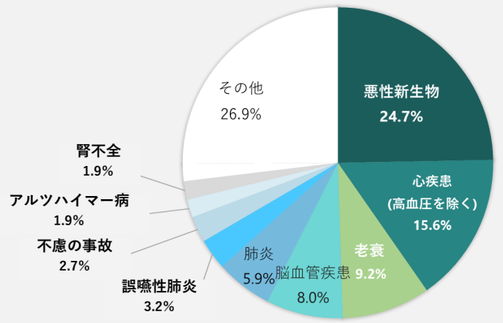
男性　**6**位
（前回Ｈ28年　22　位）

女性　**18**位
（前回Ｈ28年　15　位）

厚生労働省
健康寿命の令和元年値についてより

群馬県の健康寿命は男女とも延びています。特に男性は全国での順位を上げました。

R３年度 群馬県の主な死因



Ｒ３年度人口動態統計月報年計の概況より

死因の約半数は**三大疾病**(悪性新生物、心疾患、脳血管疾患)です。

1 体重計に乗る！　2 記録で気づく！

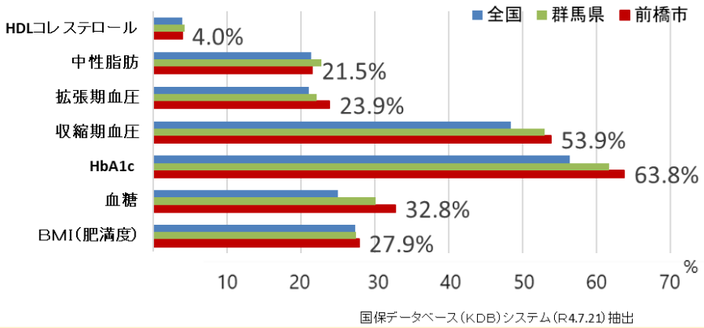
●**体重測定**から始めてみませんか？

【適正体重】＝身長(m)×身長(m)×22

ダイエットなどで高い目標を掲げて続かないことは、誰にでも経験があるのではないでしょうか。

そこで、まず**体重測定**はどうでしょう。月1回や週1回位の定期的な体重測定を習慣にすると、普段の食事や運動習慣の様子だけでなく、むくみなどから病気に気づくきっかけにも。脂肪を👁で見てみたい方には、「脂肪の模型(1kg)」を健康増進課で貸し出ししています。

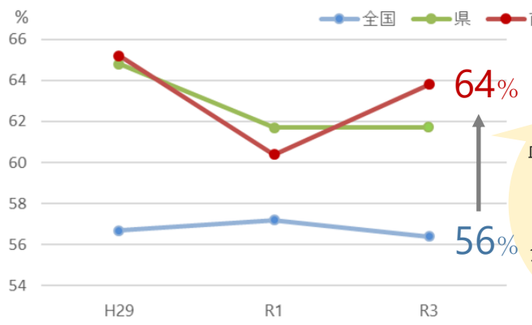
R３年度 国保特定健診 有所見者割合



国保データベース(KDB)システム(R4.7.21)抽出

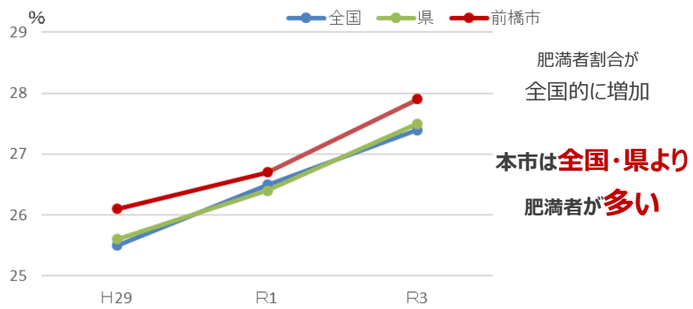
血圧、HbA1c、血糖、BMI等、ほとんどの項目で全国・県より悪い結果でした。

HbA1c有所見者割合の変化



血糖値を反映する HbA1c「異常なしではなかった人」の割合が全国より**8**ポイントも**高い**

BMI(肥満度)有所見者割合の変化

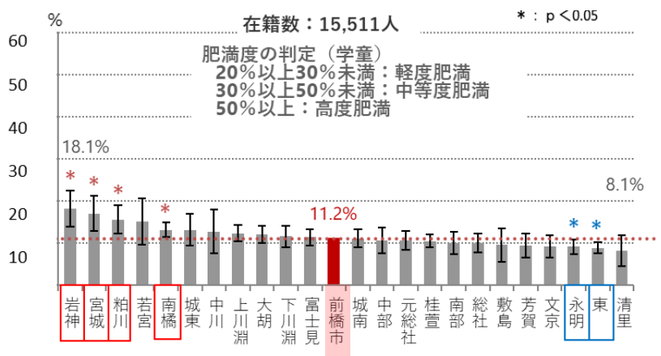


肥満者割合が全国的に増加

本市は全国・県より肥満者が多い

小学生 肥満度20%以上の割合

p値（有意確率）が5以下の場合を有意差ありと見ていることを示します

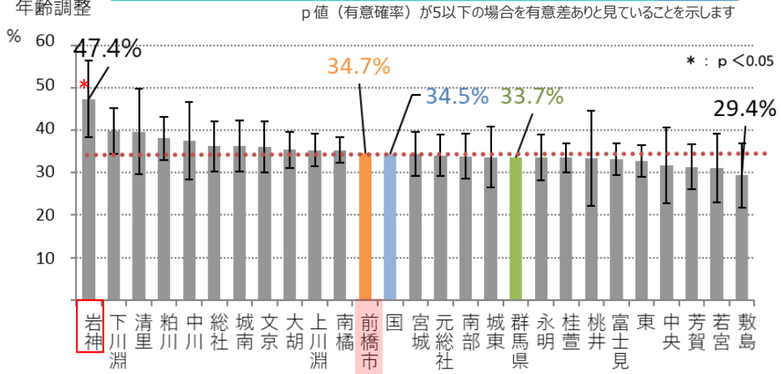


大人同様、小学生の肥満度にも地域差があります。Ｒ２年度の本市小学生肥満の割合は12.4％であり、少し良くなっています。

国保特定健診 BMI25以上(肥満)の者の割合　男性

年齢調整

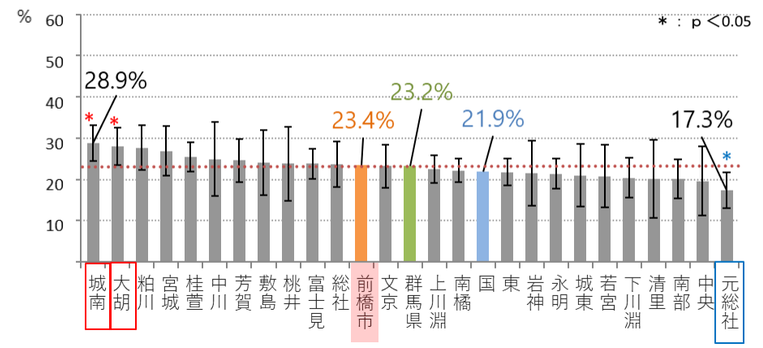
p値（有意確率）が5以下の場合を有意差ありと見ていることを示します



国保特定健診 BMI25以上(肥満)の者の割合　女性

p値（有意確率）が5以下の場合を有意差ありと見ていることを示します

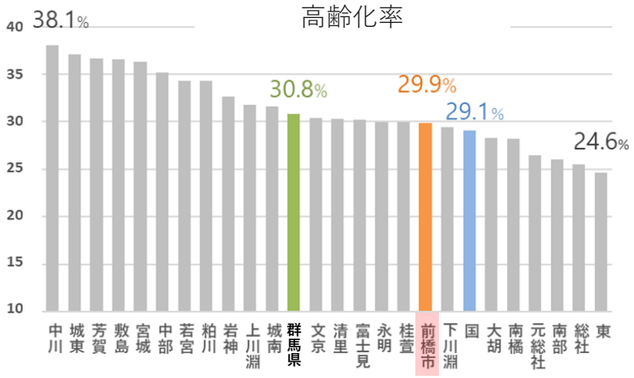
年齢調整



高齢・介護

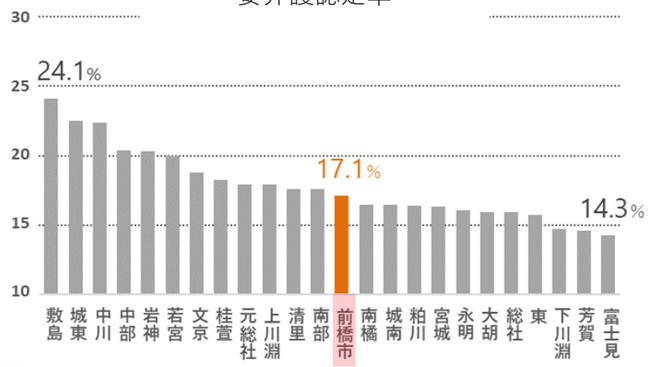
R３ 高齢化率は全国と同様に年々高くなっています。令和3年度は地区活動が徐々に再開されています。

高齢化率



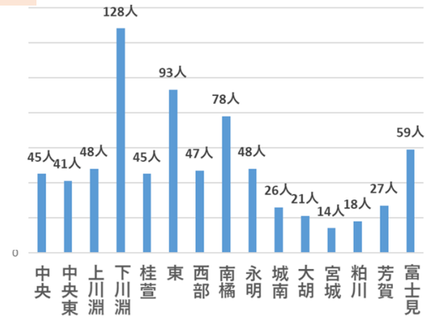
高齢化率は全国平均より少し上回っています。

要介護認定率



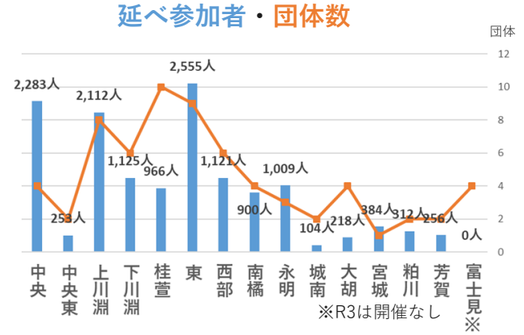
認定率の高い地域は旧市に集中しています。

R３ 介護予防サポーター活動者数



ピンシャン体操クラブ

延べ参加者・団体数

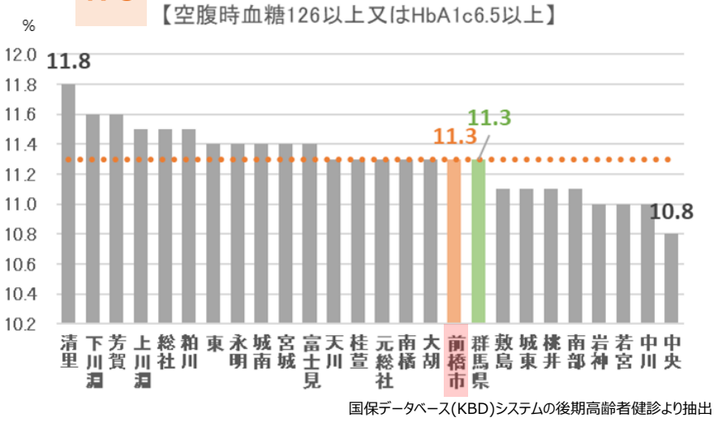


※R3は開催なし ※

・介護予防サポーターは、介護予防の知識を習得して地域で実践しているボランティアです。R5年度の養成研修は、本会場の総合福祉会館だけでなく、地域の公民館でのサテライト開催も検討しています。

R３ 血糖リスク保有率（性・年齢調整・県比較）

【空腹時血糖126以上又はHbA1c6.5以上】



国保データベース(KBD)システムの後期高齢者健診より抽出

後期高齢者健診のデータを基に一部の地域で血糖リスク・やせリスクの高い方への支援をしています。

R３ やせリスク

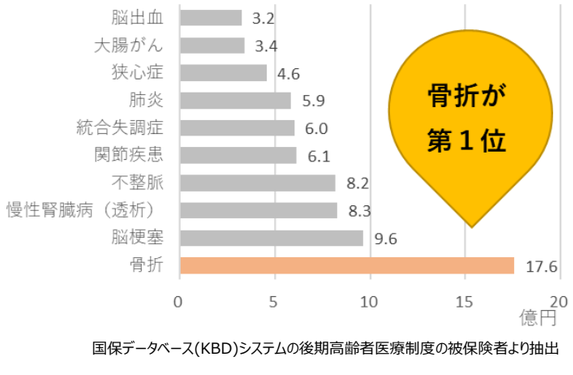
【BMI18.5以下】

前橋 8.5%

全国 8.3%

体重と一緒に筋肉が落ちると、活動量が減ったり、骨が弱くなったり、免疫力が低下する場合も。

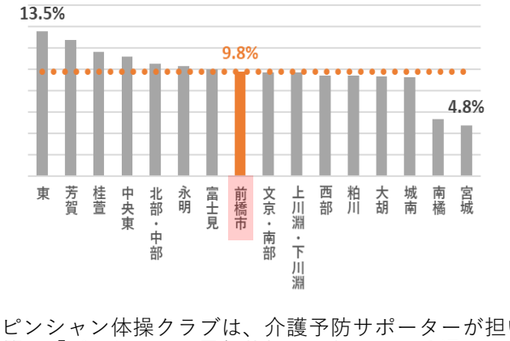
R３ 入院医療費が高い疾病



国保データベース(KBD)システムの後期高齢者医療制度の被保険者より抽出

入院医療費の1位は骨折で、2位の脳梗塞の約2倍。

介護予防の通いの場に月１回以上参加している人の割合



介護予防の通いの場

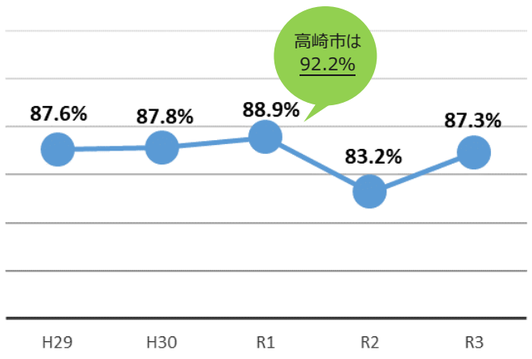
ふれあいいきいきサロン
ピンシャン体操クラブ
はつらつカフェ
認知症を語るカフェ

・ピンシャン体操クラブは、介護予防サポーターが担い手となり、地域の公民館等で「ピンシャン！元気体操」を行っている通いの場です。他に短時間・少人数・屋外で活動する「ピンシャン元気ひろば」が始まっています。

歯科保健

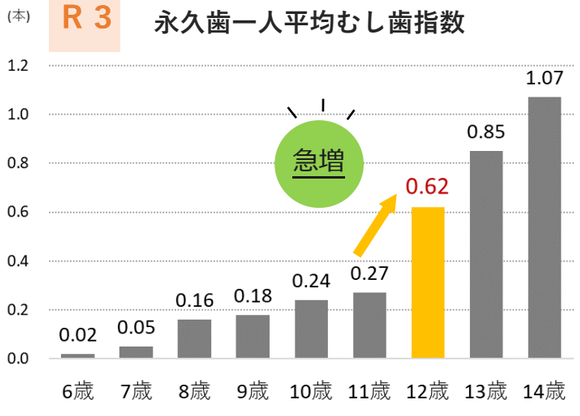
成人歯科健診の結果、３５歳以上の人の半分以上に進行した歯周炎があるという結果に。
＊歯周病とは、歯と歯ぐきのすき間から侵入した細菌が歯ぐきに炎症を起こし(歯肉炎）、加えて歯を支える骨を溶かしてグラグラにさせてしまう状態(歯周炎）を合わせたもの。

むし歯がない３歳児の割合



3歳児のうち約**8人**に**1人**は**むし歯**があります。

R３ 永久歯一人平均むし歯指数



学齢期になると、むし歯が増加。
１２歳を境に、一人平均むし歯指数が**急増**します。

R３ 成人歯科健診結果

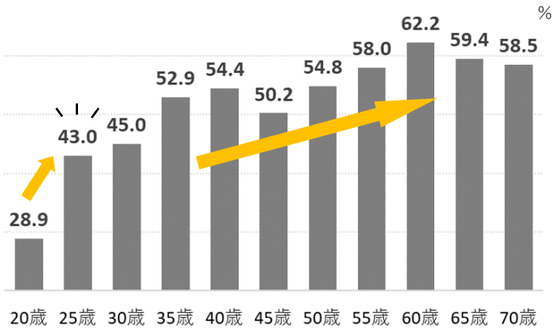
受診率 5.3%

対象者のうち、受診者は約20人に1人です。

成人歯科健診の内容

- 歯、粘膜
- 歯肉からの出血
- 歯周ポケット
- みがき残し
- 歯石の状態
- 義歯の状態

進行した歯周炎を有する者の割合



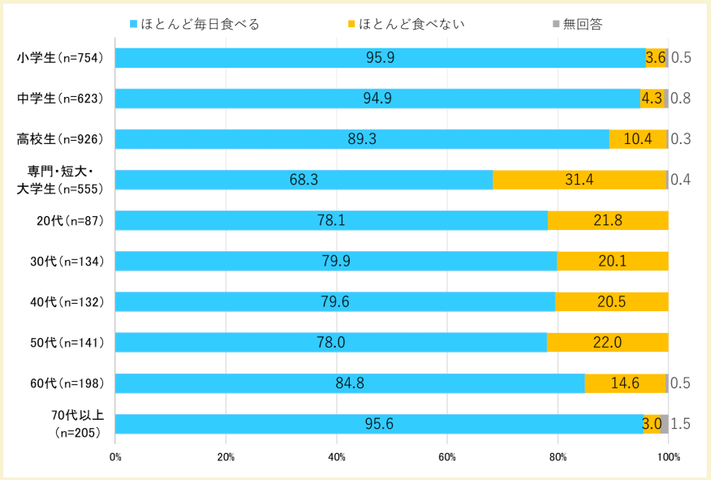
成人歯科健診の受診率は５％台が続いています。若い年代から歯周炎がある人は多く、年齢とともに増加。
歯を失う人が減っても、**歯周病**は**増加**しています。

食育に関する市民意識調査結果

R3年9月実施
回答数
①一般市民(20歳以上の市民)　904人
②小学生　754人
③中・高校生　1，549人
④専門・短大・大学生　555人

朝食の摂取状況

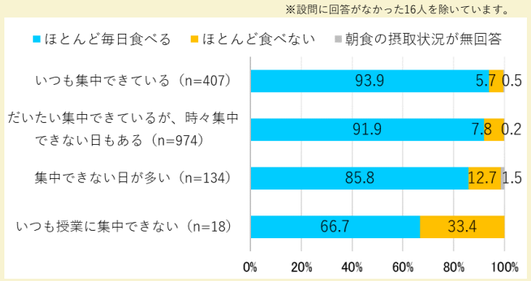
※年代の回答がなかった7人を除いています。



朝食を食べる人は小中学生と70代以上で多く、
「**ほとんど食べない**」は、**特に専門・短大・大学生で多い**結果。

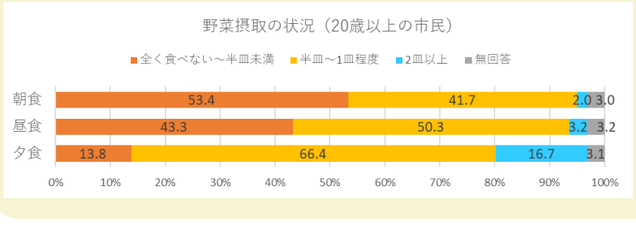
中学生・高校生の朝食と授業への集中度

※設問に回答がなかった16人を除いています。



中学生・高校生の調査結果では、
「いつも集中できている」生徒の**9割**が
朝食をほとんど毎日食べています。

野菜の摂取状況



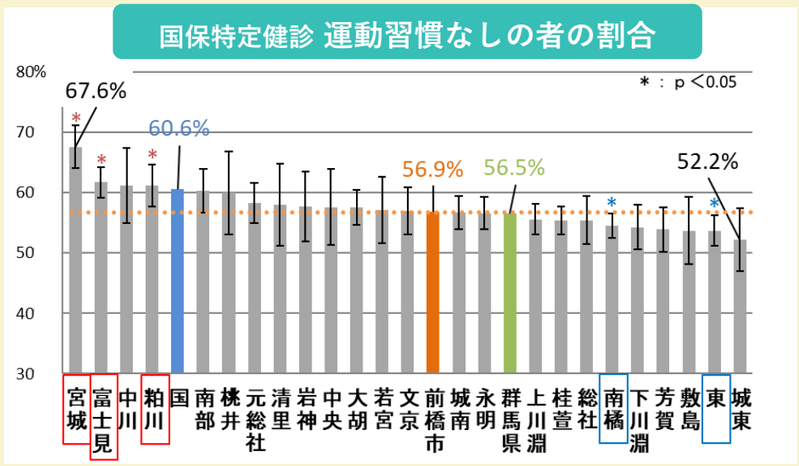
朝食で、野菜を「全く食べない～半皿未満」の割合が最も高くなっています。

レシピや食に関する情報

朝ごはんも野菜も

まえばし食育の森

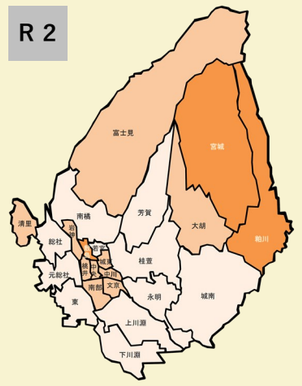
国保特定健診 運動習慣なしの者の割合

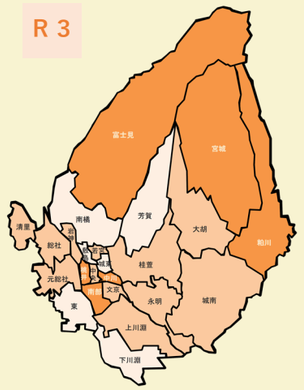


市平均は、全国より良い状況でした。
一方、市内全ての地区で、**半数以上の人に運動習慣がありません。**

Ｒ２年度と比較すると、運動習慣なしの割合が増えた地区が多いです。

運動習慣**なし**の者の割合
50%未満
50-55%未満
55-60%未満
60%以上





	HbA1c5.6以上		BMI25以上		運動習慣なしの者	小学生肥満度20%以上	高齢化率	要介護認定率	後期高齢者 リスク保有率	
	男性	女性	男性	女性					血糖	やせ
岩神	64.4%	61.9%	47.4%	21.5%	57.7%	18.1%	32.7%	20.3%	11.0%	8.3%
敷島	62.7%	64.9%	29.4%	24.1%	53.7%	9.6%	36.6%	24.1%	11.1%	8.4%
若宮	65.3%	59.6%	31.2%	20.8%	57.1%	15.1%	34.3%	20.0%	11.0%	8.4%
城東	59.1%	56.0%	33.7%	21.0%	52.2%	13.1%	37.1%	22.5%	11.1%	8.5%
中央(中部)	59.8%	61.9%	31.7%	19.6%	57.6%	10.7%	35.2%	20.4%	10.8%	9.0%
桃井(中部)	64.3%	67.5%	33.4%	23.8%	60.0%				11.1%	8.7%
中川	62.9%	63.9%	37.6%	24.9%	61.2%	12.7%	38.1%	22.4%	11.0%	8.8%
南部	64.9%	68.9%	33.9%	20.1%	60.3%	10.1%	26.0%	17.6%	11.1%	8.2%
文京	66.2%	68.3%	36.1%	23.2%	57.0%	9.2%	30.4%	18.8%	11.3%	8.2%
上川淵	64.2%	64.7%	35.3%	22.5%	55.6%	12.3%	31.8%	17.9%	11.5%	7.6%
下川淵	71.0%	63.4%	39.9%	20.4%	54.3%	11.5%	29.5%	14.7%	11.6%	7.6%
芳賀	59.7%	61.1%	31.4%	24.6%	53.9%	9.3%	36.7%	14.6%	11.6%	7.3%
桂萱	60.0%	58.5%	33.5%	25.5%	55.4%	10.5%	29.9%	18.2%	11.3%	8.0%
東	66.7%	68.1%	32.7%	21.8%	53.7%	8.8%	24.6%	15.7%	11.4%	7.7%
元総社	57.4%	59.6%	34.1%	17.3%	58.3%	10.6%	26.5%	17.9%	11.3%	7.8%
総社	58.9%	62.2%	36.3%	23.7%	55.4%	10.0%	25.5%	15.9%	11.5%	7.5%
南橋	62.4%	64.8%	35.3%	22.2%	54.5%	13.1%	28.2%	16.5%	11.3%	8.0%
清里	59.9%	59.3%	39.7%	20.2%	58.0%	8.1%	30.3%	17.6%	11.8%	7.2%
永明	60.1%	60.3%	33.6%	21.4%	56.6%	9.1%	29.9%	16.0%	11.4%	7.7%
城南	54.8%	59.1%	36.3%	28.9%	56.7%	11.0%	31.6%	16.4%	11.4%	7.8%
大胡	60.0%	56.4%	35.4%	28.0%	57.5%	12.0%	28.3%	15.9%	11.3%	8.2%
宮城	58.8%	61.6%	34.4%	26.9%	67.6%	17.0%	36.3%	16.4%	11.4%	7.9%
粕川	63.0%	61.3%	38.1%	27.7%	61.2%	15.5%	34.3%	16.4%	11.5%	7.5%
富士見	59.7%	65.4%	33.2%	23.8%	61.7%	11.4%	30.2%	14.3%	11.4%	7.5%
前橋市	61.5%	62.6%	34.7%	23.4%	56.9%	11.2%	29.9%	17.1%	11.3%	7.9%

元データ・用語の定義等

【最初に】成人保健は主に国保特定健診のデータを用いており、一つの健診データではありますが、市民の傾向の把握に役立ちます。
また、年齢調整や統計的検定をしていないデータについては、それを考慮して見てください。

- 23地区の町名区分については前橋市ＨＰ（https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/kenko/kenkozoshin/oshirase/19609.html）に掲載。
- 有所見者：健診の結果、検査数値が一定のリスク［保健指導判定値］にあてはまる人。
- HbA1c：糖尿病の検査項目の１つ。5.5%以下が基準範囲内。
- ＢＭＩ：体格指数。体重(kg)÷身長(m)の２乗。やせ18.5未満/普通18.5 - 25未満/肥満25以上。
- 永久歯一人平均むし歯指数（DMFT指数）：永久歯における一人平均のむし歯の経験本数。
- 成人歯科健診「進行した歯周病」：歯周ポケット4mm以上の者。
- HbA1c5.6%以上、BMI25以上、運動習慣なしの者の割合（Ｒ4.7月抽出）は　国保データベース（KDB）システムより。
- 地図は40-74歳対象の国保特定健診受診者データ（後期高齢者健診・スマイル健診等の結果は含まず）。
- むし歯のない3歳児の割合は、R3年度3歳児健診結果より集計（受診者数2,339人）。
- 小学生肥満度20%以上の割合：R3年度前橋市学校保健会資料より小学校別データを学校所在地から23地区に分け集計。在籍数15,511人（学区がない特別支援学校、国立・私立校を含まず）。
- 国保加入者は全市民の21.5%、年齢構成は39歳以下23.7%、40-64歳31.0%、65歳以上45.3%(Ｒ3.3月末現在）。
- 令和3年度国保特定健診の受診者は男性8,766人、女性11,351人。年齢調整は、国立保健医療科学院「健康課題把握のための参考データ・年齢調整ツール」を使用。各地区の95%信頼区間と市平均を比較し有意差を判断。
- 95%信頼区間：母集団の平均が95%の確率でその範囲にあることを表す。その範囲から市の平均値が離れる時は、有意に差があると見る。
- ＊は市平均と比較し有意に高い・低いことを示します。グラフの先端にある縦棒は長さによってデータのばらつきが大きい・小さいを示します。

がん検診

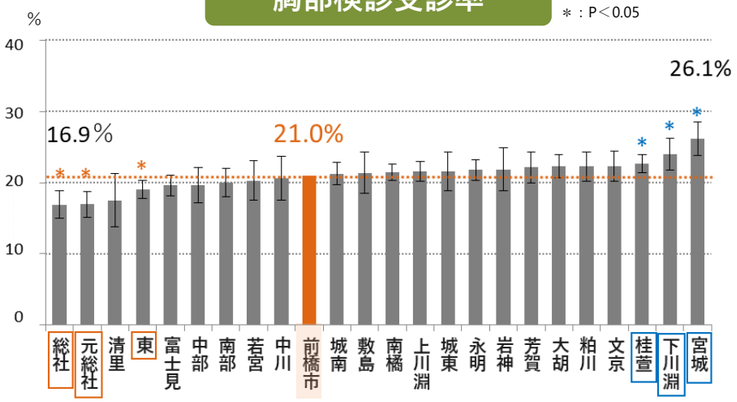
❶ 本市のがん検診受診率は、全国と比較して高く、中核市では肺・大腸・子宮・乳がん検診は1位、胃がんは2位(Ｒ２年度)。
❷ 受診率は前年度と比較し回復傾向ですが、コロナ流行前よりは下回っており、全国と同じ傾向がみられます。
❸ Ｒ２年度もがん検診で多くの早期がんが見つかっています。要精密検査になった場合は、受診することが重要です。

※検診受診率＝(検診受診者数)÷(検診対象者数)×100

Ｒ３年度結果

胸部検診受診率

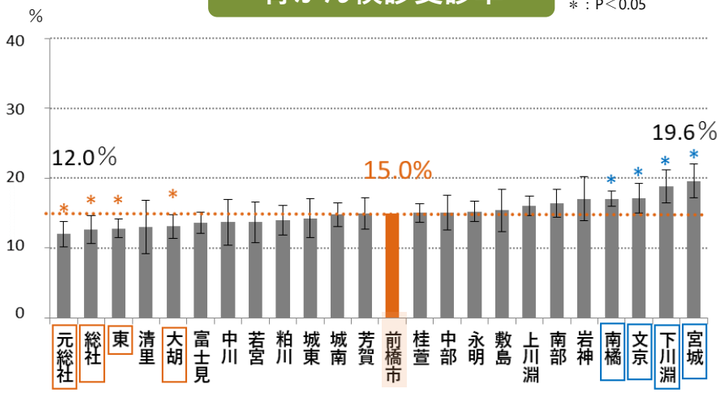
＊：P＜0.05



胃がん検診受診率

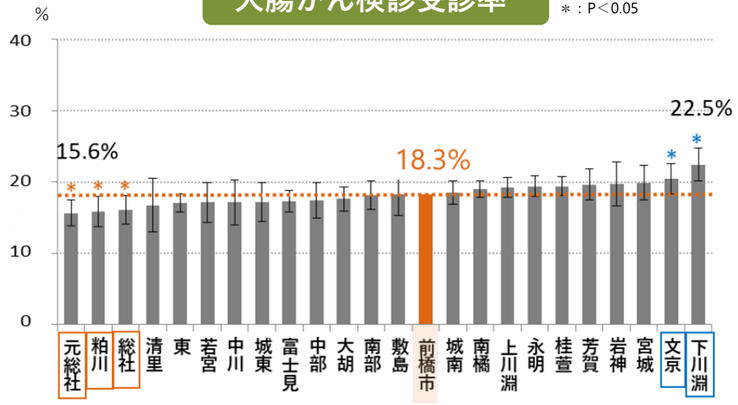
p値（有意確率）が5%以下の場合を有意差ありと見ていることを示します

＊：P＜0.05

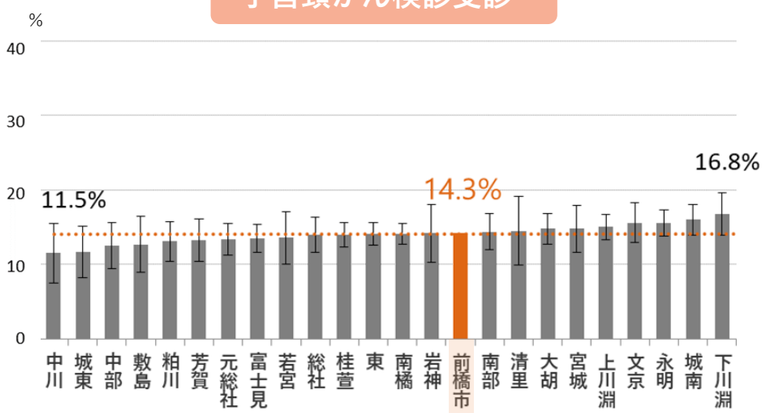


大腸がん検診受診率

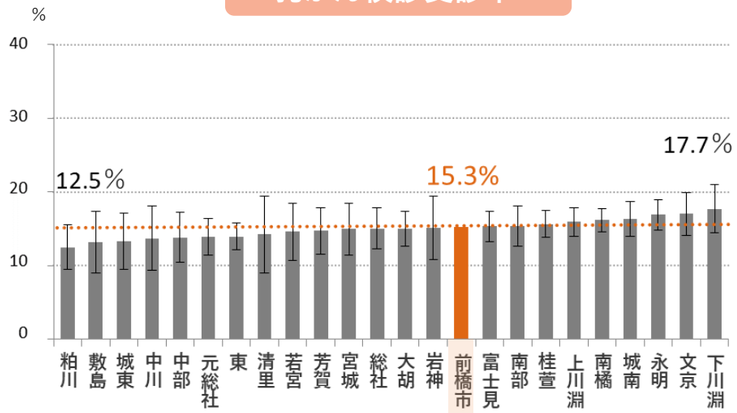
＊：P＜0.05



子宮頸がん検診受診



乳がん検診受診率



Ｒ２年度結果

Ｒ２年度がん検診受診率(%)

本市のがん検診受診率は、全国や県と比較して高いことがわかります。Ｒ２年度は胃がん検診を除き、胸部、大腸、子宮頸がん、乳がん検診の受診率が**中核市で1位**でした。

出典：令和2年度地域保健･健康増進事業報告の概要　統計表

がん検診　受診者数の推移 (前橋市)

受診者数は前年度より増加しましたが、コロナ流行前よりは下回っています。がんを発見する機会を逃してしまった方がいた可能性があります。

がんは 早く見つければ治る可能性が高い

出典：がん診療連携拠点病院等院内がん登録生存率集計報告書
（2013－2014年 5年相対生存率）

本市のがん検診で、多くの早期がんが見つかっています

（R2年度 前橋市がん検診結果より）

Ｒ２年度結果

早期がん：病期 0～Ⅰ　早期以外：病期Ⅱ～Ⅳ，不明

「がん検診」のご案内

前橋市
ホームページ

「がん」に関する情報

国立がん研究センター
「がん情報サービス」